

油井 雄二

成城大学経済学部 教授

持続可能な介護保険制度の構築へ向けて－介護予防と保険者の役割－

本研究は、持続可能な介護保険制度の構築を目指して、(1) 介護サービスと要介護状態の変化に関する個票データを用いた実態分析と、(2) 介護予防サービスの供給体制と保険者の役割についての制度分析の2つの分析を行うことを目的としている。有効な介護サービス、介護予防サービスのあり方を考える上で、介護サービスの利用が要介護状態の変化にどのような効果を与えているか、実証的な分析は不可欠である。本研究の第1の課題として、介護サービス利用者の個票データを用いて、この問題に取り組む。また、近年、所得格差の拡大に関心が高まっていることを考慮して、所得分配の視点から介護保険を分析する。

第2の分析は、介護予防サービスの提供体制と保険者の役割に関する分析である。2005年に行われた介護保険改革では、介護予防サービスのあり方や地域包括センターの実地調査を行うとともに、そもそも市町村が介護保険の保険者であることの問題について考察を行い、持続可能な介護保険制度のあり方を検討する。